



生年月日：昭和38年(1963)7月1日生まれ  
星座：かに座  
血液型：A型  
家族：夫(元県議会議員 野村陽一)、一男(17才)  
趣味：自然に触れる事、食に関する事  
好きな言葉：一生感動 一生勉強  
学歴：県立若松高等学校卒業、長崎ウエスレヤン短期大学英語科卒業、北九州市立大学法学部II部行政学専攻卒業、九州大学大学院法務学専攻(修士)修了  
職歴：毎日新聞西部本社、アジア太平洋博覧会勤務などを経て、北九州市議会議員(平成9年より)現在に至る  
所属：総務財政委員会(副委員長)

令和4年6月・9月・12月議会一般質問発言項目

《令和4年6月定例会(6月13日)一般質問》

- 1、ロシアのウクライナ侵攻における本市への影響について
- 2、PCB処理2年延長の受け入れに当たって安全性の確認と地域振興について
- 3、カーボンニュートラル(脱炭素)社会に向けた電気自動車の普及と課題について
- 4、一般家庭向け省エネ家電普及促進事業について
- 5、子育て支援について
  - ①子ども基本条例と常設のプレイパーク(居場所)の必要性について
  - ②保育所と認定こども園の紙おむつ等の支援について
- 6、農福連携とユニバーサル農業の推進について
- 7、鳥獣対策について
  - ①アライグマ対策について
  - ②捕獲活動経費について



令和4年6月

《令和4年9月定例会一般質問》

- ・若松区のまちづくりについて
- ・ふるさと納税を活用した官民連携による協働社会づくりについて
- ・多様な働き方ができ市民に開かれた市役所や区役所のあり方について



令和4年9月

《令和4年12月定例会一般質問》

- 1、北九州市自慢について
- 2、子育て支援について
- 3、特別支援学級の新設について
- 4、危機管理体制について



令和4年12月

子どもたちや若い方々に  
議会に関心を持っていただけたら嬉しいです。

このニュースレターを見て大学生や高校生からお手紙を頂いたり、去年は議員の仕事に関心をもってくれた小学生がわざわざ事務所や議会に来てくれて話を聞いてくれたり、今年になっても少子化対策について現状を聞きたいと学校の先生や生徒さんが来て下さったり、私は子どもたちが主体的に社会に関心を持ってくれることが何よりもうれしく思います。何かお役に立つことがあればどうぞいつでも事務所までお問合せ下さい。議会見学もご案内します。

ポスティング  
のお願い

若松区は山坂が多くポスティングの業者さんができないという場所も多くあります。もしお散歩がてらに一定の区画をポスティングして下さる方がいらっしゃれば、些少の金額ではありますがアルバイトをお願いできればと思います。可能な方は事務所093-751-8206までご連絡下さい。宜しくお願い致します。

市政に関するご相談は

下記の三宅まゆみ事務所までお気軽にご連絡下さい

三宅まゆみ 事務所

〒808-0063 若松区和田町16-4  
Tel 093-751-8206 Fax 093-752-0787  
E-mail mayu1717@bronze.ocn.ne.jp  
http://www.mayumi-arigato.jp/



北九州市議会 ハートフル北九州

〒803-0813 北九州市小倉北区城内1-1 Tel 093-582-2658 Fax 093-582-4867



酷暑による熱中症や自然災害から身を守りましょう。



京都大学防災研究所にて

うだるような暑い日が続いていますが、皆様お元気でお過ごしでしょうか?少し前になりましたが、大雨が続き全国各地で大きな被害が出ました。本市では今年は幸いなことに人命にかかわる災害は起こっていませんが、部分的に被害にあわれた方もいらっしゃるかと思います。お見舞いを申し上げます。

写真は京都大学防災研究所に会派で伺い、実際に大雨の中で水没した車から脱出できるかや、大雨の中の避難を体験させていただきました。

これからは特に大雨や台風、地震など今後のさまざまな自然災害にそなえて、そのつどの避難場所を改めて確認したり、地域での避難訓練に参加したり、数日分の食べ物や飲み物のローリングストック(普段の食品を少し多めに買い置きしておき、古いものから消費し、消費した分を買い足す)やリュックに必要な最低限のものを入れて身近に置いておくなど日頃からの準備が大切です。

また今後さらに暑い日が続く、所によっては災害的な暑さになるようです。外出時は女性にはなじみのある日傘が有効ですが、最近は男性用も売られています。ぜひ、活用されてみてはいかがでしょうか?加えて熱中症は炎天下に長くいるだけでなく、室内にいても起こります。熱中症は放置すると死に至ることもあります。今更ながらですが我慢せずクーラーなどを入れ、こまめな水分や塩分補給などに気を付けてお過ごしください。

ニュースレターの印刷をずっと依頼していた会社が地元からなくなり、加えて市長や県議選挙などと重なりタイミングを逃してニュースレター発行の期間があいてしまった事お詫び申し上げます。その間ホームページでは議会での質問内容など載せておりますが、今回改めて少し遡って議会での質問項目は4ページでご報告させていただきます。





# 議会だより これからの市の計画などを議論する 総務財政委員会の副委員長として頑張っています。

この2月で4年任期の半分が過ぎ所属委員会が変わりました。私は3月議会でいったん希望する教育文化常任委員会に所属になりましたが、6つの常任委員会がある中、わが会派は11人。委員会の割り当てが5つの委員会に二人ずつと総務財政委員会は一人ということで、今後市の最上位の総合計画作成に関係する委員会でも多少経験を積んだ議員の方がよいのではと会派で話し合い私が変わることになりました。加えて総務財政委員会では副委員長を務めさせていただくことになりました。

新市長になり、公務員以外の外部人材を多く登用しており、情報漏洩の問題他すでに委員会での議論は白熱することが多く、今後もかなり議論を重ねることになりそうです。

6月の予算議会では本会議の一般質疑に立たせていただきました。毎回議会で会派人数で時間が割り振られていて、会派の全員が質問に立つことはできませんが、今回は1時間させていただきました。(本会議の一般質疑は30分か1時間) 以下のような項目内容です。



(一般質疑)



令和5年6月定例会 一般質疑

(紙面の関係で詳しくは議会のホームページでご覧いただくか、事務所までお問い合わせください。)

## 1 本市の市民所得向上と企業の人手不足対策について

急激な物価高で大企業を中心に賃上げが行われている中、中小零細企業において約4割は原資がないために実施できていません。また市の業務の民間委託先や指定管理施設で働く方々も、最低賃金に近い金額で仕事をされている方が多く所得の格差がますます広がっています。市民の多くは中小零細企業などに勤めており、ここで働く方々の実質賃金を上げることが、市外に人を流失させないためにも大変重要です。民間のことで自助努力でいえばそれまでですが、市民所得を上げることは市にもメリットがあります。また、様々な分野で深刻な人手不足が問題で、特に工業都市である本市においては、基幹産業である製造業が深刻です。給与の高い大手でさえ人手不足で、給与水準の低い多くの中小零細企業は、採用募集をしてもほぼ応募のない状況で、今後この状況は加速することが予想されます。加えて、最近の若者の多くは交代勤務制のような不規則な仕事を敬遠するくらいがあり、本市の大手製造業は365日24

時間操業をしている会社が多く、新卒者がなかなかとれず他県へも走り回っていますが、最近熊本県菊陽町にできる予定の半導体製造会社TSMCの採用募集がはじまり、給与が高いということで、本市にも影響がでるのではないかと市として状況を把握し、支援や対策について尋ねました。

(北九州市の中小企業は事業所数の99%、従業員数の約8割を占め、市内の製造品出荷額等の44%を担っている)

## 2 子育て支援と教育について

- ① 産休明け保育100%のまちへ
- ② 保育士不足対策について

12月以降の第2子以降の保育料完全無償化は歓迎するものです。すでに保育所や幼稚園、認定こども園などに無償化になれば預けたいと問い合わせがきているとの事。

ただ、どこも保育士不足が深刻で、正直これ以上預かれないかもしれない現状もあり、保育士1人に5つの園からのアプローチがあるような状況で、保育士さんの確保に大変苦慮されています。

保育士さんの更なる待遇改善や潜在保育士さんの発掘に加え資格取得支援他今後の保育士不足対策について尋ねました。

## 3 性暴力・性的虐待から子どもを守るための教育と支援について

最近、芸能界での性暴力のニュースが話題になっていますが、魂の殺人とも言われる性暴力や性的虐待を受けた子どもたちは、成長する過程でそのトラウマに苦しみ、その苦しみにから逃れようと自暴自棄になり、非行に走ったり、リストカットをしたり、何でもなかったことにしたいがために売春や援助交際といった性的な逸脱行為に走ったり、摂食障害やパーソナリティ障害になることもあり、その後も一生苦しみを背負いながら生きることになります。

本市においても、ひどい子どもへの性的虐待の事案が表面化していますが、子どもへの性的虐待で表に出てくる件数は氷山の一角。継父、実の父親や祖父、母親、兄弟から、女子だけでなく男子も含む中高生や、小学生、更には幼児の被害事例もあり、特に親族による性的虐待は幼児期から始まることも少なくありません。性被害にあった子が性加害者になることもあり、また親になったとき連鎖することもあり、問題は深刻です。本来一番安全である居場所の家庭が被害場所となっています。苦しみを背負いながら育つ子どものいないまちをめざすことが重要。幼少期から年齢にあった自分を守る教育と支援について尋ねました。



お陰様で私もいよいよ還暦を迎えました。体力はある方ですし気持ちの上では30代と何も変わらないつもりではありますが、鏡の中の現実はそうはいきません。月日の経つのは本当に早いものです。高齢出産で産んだ息子も高校3年生もうすぐ18歳で成人を迎えます。大学受験に向けてプレッシャーも大きいと思いますが、親は見守るしかありません。これまで子育てをしながら親も育ててもらってきた気がします。とくに議員の仕事は様々な経験が活かされる仕事だと思えます。子育ても含め経験した良かったことも失敗したことも仕事に活かしていければと思います。一生勉強、一生感動これからもまだまだ努力をして参ります。今後とも何卒ご指導いただけますようよろしくお願い申し上げます。

## 4 不登校特例校の設置について

## 5 女性人材バンクの設置について

## 6 エレベーターのない市営住宅の高層階の活用について

エレベーターのない市営住宅は、4階や5階が空室になっているところが多く、市営住宅によっては高齢者ばかりが住んでいて、敷地内の環境整備なども困難になっています。

そこで大学生などに、自治会活動に協力したり、ルールを守る事を条件で貸出しすることができないかと質問しました。

## 7 若松区のまちづくりについて

若松の北海岸はドライブやツーリングに最適な場所ですが、今後さらに盛り上げていくためには、この周辺の通りに、もう少し自由に常設の素敵なお店ができると良いのですが、用途制限が課題です。

今後、地区計画の運用基準改定などで対応しさらに観光地として可能性を広げては?と尋ねました。

